明治 列伝5

増

oxplus

仙台市博物館 市史編さん室長

菅野 幸 正道



七十七国立銀行の誕生

的に自活することを余儀なくされました。 りに金禄公債と称する金融証券を与えました。 これによって士族は定期収入を絶たれ、経済 (士族) に与えていた家禄を打ち切り、 明治維新後、政府はそれまで藩が武士たち 代わ

銀行の資本金に充てることにより、 能性を秘めていたのです。そこで金禄公債を の効果を得ようとしたのが日本の国立銀行制 動きが大量に出ると、経済が大混乱に陥る可 及んでおり、金禄公債を現金化しようとする 債の額面総額は、当時の国家予算の三倍にも こで注目されたのが金禄公債でした。金禄公 として銀行の整備を進めようとしますが、そ 一方で政府は、近代経済を支える金融機関 一石二鳥



りです。 られました。第七十七国立銀行です。旧仙 年四月、 後に株式会社七十七銀行と改称し、仙台随 業を開始しています。第七十七国立銀行は、 四十六国立銀行を吸収合併し、十二月から営 台藩士六人が発起人となったこの銀行は、第 の目的にした二番目の国立銀行の設置が認め 四十六国立銀行が設立認可を受け、 金融機関となることは、皆さんご承知の通 旧仙台藩士の金禄公債保全を第 続いて翌

混乱期に頭角を現す

ずれも旧仙台藩の重臣層の出身でした。 人に増田繁幸という人物がいました。 この第七十七国立銀行の発起人六人は、 増田家は、伊達家の古くからの重臣の家柄 その

保九(一八三八)年に自害しています。父が 握され藩政改革に取り組んだ人物でした。し ようにも思われます。 このような形で失ったことと深い関係がある た繁育は、志を実現できないことを嘆き、天 かし、反対勢力の抵抗により改革を妨げられ で、繁幸の父・繁育は藩の奉行(家老)に抜 に見られる繁幸のしたたかな政治性は、父を 繁幸は数え十三歳でした。後

かし、 盟を結んだ藩の方針に従って活動します。 戦争の中で繁幸は、重役として奥羽越列藩同 時代は幕末の動乱期に入っていました。戊辰 増田繁幸が四十歳の働き盛りを迎えた時 戦況が同盟側に不利になるにつれて、

名取市高柳の多賀神社境内に残る増田繁幸の顕彰碑

の立て直しに手腕を発揮したのです。 後処理の実質的責任者として、変革期の政治 繁幸は和平交渉の責任者となり、その後も戦 えを転換します。ついに仙台藩が降伏した際 繁幸は藩のためには新政府と和平すべきと考

地域へのまなざし

伝えられています。 糸生産の奨励、畜産の振興に特に力を入れたと 興に力を入れました。産業振興では、 くに小学校教育の推進、医療の充実、産業振 の長官に任じられました。在任中の繁幸は、と を買われて一関県(後に水沢県、磐井県と改称) 台藩が廃されると、増田繁幸はその行政手腕 明治四(一八七一)年、廃藩置県によって仙 養蚕・生

院議員を歴任しました。 まだまだ必要とされ、前述のように七十七国立 議長の地位に就き、さらに衆議院議員、貴族 政界にも進出し、県議会議員になるとすぐに 銀行の創設にかかわったのを皮切りに、その後 を営むようになります。しかし、増田の手腕は 名取郡高柳(名取市)に隠棲し、もっぱら農業 宮城県に分割併合されると、繁幸は官を辞し、 明治九(一八七六)年、磐井県が廃され岩手県

と言えるでしょう。 域貢献に対する地域の思いを物語るエピソード しむ中で繁幸の顕彰碑を造りました。繁幸の地 が、没後三十年余を経て、村人等は凶作に苦 二十九(一八九六)年に七十一歳で没しました に結び付けようとする試みでした。繁幸は明治 害虫駆除、馬耕などは、農業改良を地域振興 普及、馬や鵞鳥の飼育、茶・葡萄・梨の試験栽培 きく評価されました。繁幸が実践した養蚕の 方で、地元の高柳では、繁幸は村人たちから大 戦争前後の挙動に賛否両方の評があります。一 政治家としての繁幸については、とくに戊辰



◆A5判 520頁 オールカラー ◆定価3000円(本体2858円)

仙台市博物館市史編さん室

明治時代の仙台

TEL.022-235-7181 FAX.022-235-7183 県内主要書店・仙台市博物館/㈱宮城県教科書供給所 〒980-0862 仙台市青葉区川内 26 番地 TEL.022-225-3074

近代化とそのくらし

好評発売中



19